

開幕の ベルが鳴る。

昭和六十二年四月、

「町内でコンサートが聴けたら」

「自分たちの芸能を発表できる場があれば」

そのような町民の皆さんからの声に応えるべく、

町民会館建設検討委員会が発足しました。

それから九年。

地元をはじめ、多くのかたがたのご協力を得て、

八月三十日、いよいよ町民会館がオープンします。

これにより、一月五日に開館した図書館とともに、

「ハッピーネス・ヒル・幸田」の文化ゾーンが完成となります。

ところで、「文化」とはいったい何なのでしょう。辞書を引いてみると、

「人間が学習によって社会から習得した生活の仕方の総称」とあります。つまり「学習の場に文化あり」といえます。

また、学習の場は社会のどこにでも、そしていつでもあります。ならば、文化とは人々の人生そのものなのかもしれません。

人それぞれの人生というステージでは、その人が主人公です。また、結末を知らない脚本家であり、演出家でもあります。

観客は、家族であり、友人であり、その人を見守る人々です。そして、この町民会館が、

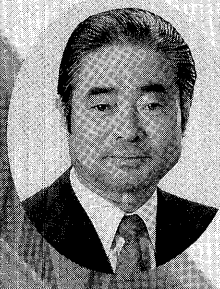
皆さんそれぞれの人生劇場の中の一ステージ『町民劇場』であればと思います。コンサートやお芝居に感動し、

また、自らステージの上で自分を精一杯表現する…。皆さんの「これから」への一助となれば幸いです。

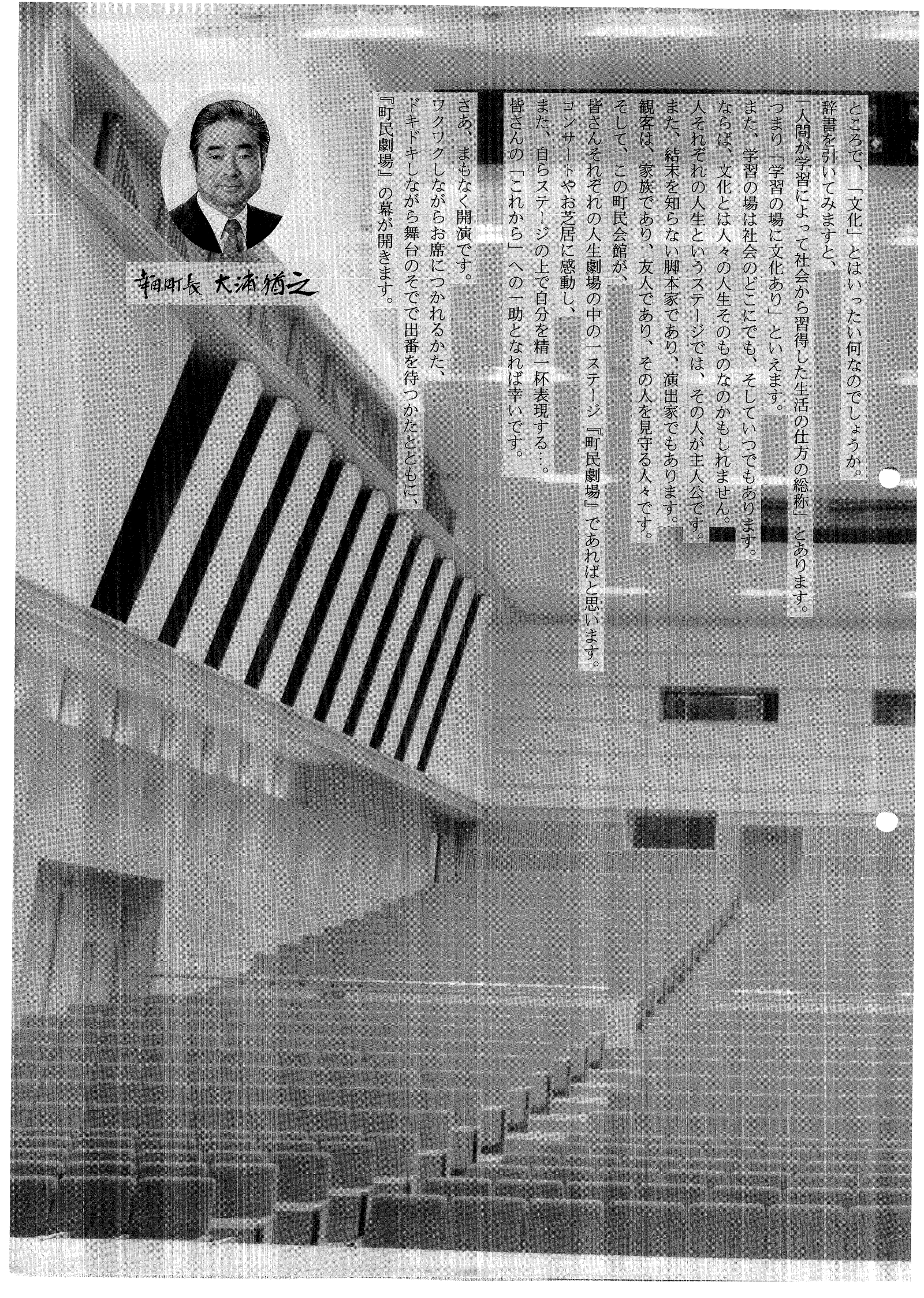
さあ、まもなく開演です。

ワクワクしながらお席につかれるかた、ドキドキしながら舞台のそでで出番を待つかたとともに、

『町民劇場』の幕が開きます。



町長 大湊 猶之



開幕の
ベルが
鳴る。

花の名前のついた三つの 《主役》^{ホール} それぞれが私たちに感動を与えてくれる

町民会館のメインでもある三つのホールには、さくら、つばき、あじさいとそれぞれに花の名前がついています。そして、それぞれに特色を持っています。

■さくらホール

三つのホールの中で最も大きなこのホールには、一、〇〇四の客席（身障者席六）があります。クラシックや軽音楽などのコンサートやオペ

ラ、演劇、講演など様々な用途に対応します。音楽の生演奏に適した響きのよい音場から演劇や講演の話す声といった短い音場までを明瞭に聞き取れるようにするために、可動壁で調整できるようになっています。

■つばきホール

このホールは、客席数が四〇〇（身障者席四）です。ここでは、町民の皆さんがステージの主役となっ

ていたできるように、演劇、講演からピアノの発表会や室内音楽といったものまで対応できます。特にステージでの肉声が明瞭に到達しやすいように客席形状はワンフロア形態となっています。

また、さくら・つばき両ホールには、お子様連れのかたでも気軽に鑑賞いただくため、親子室を設置しています。そして、両ホールに付随

する施設として、楽屋及びリハーサル室もあります。

■あじさいホール

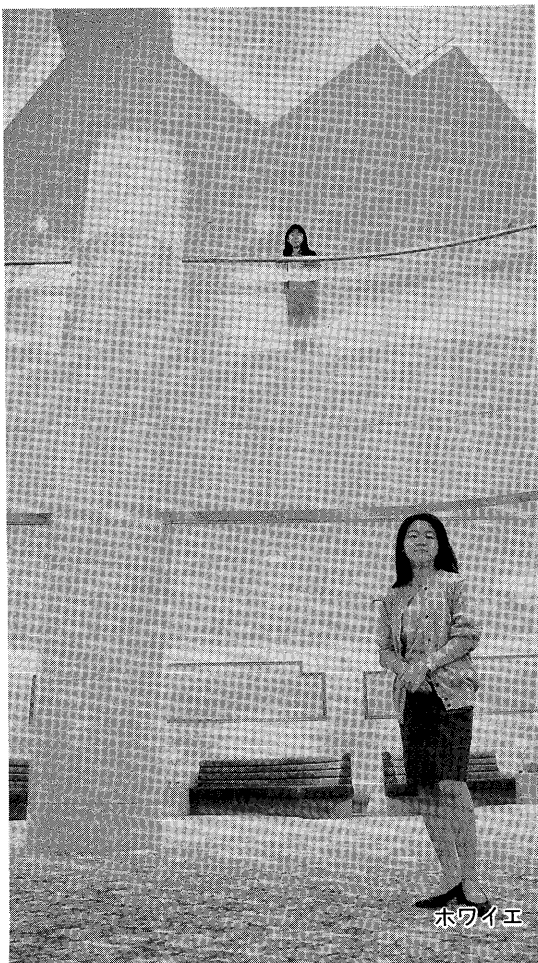
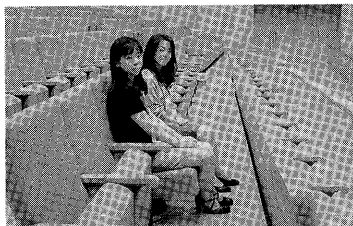
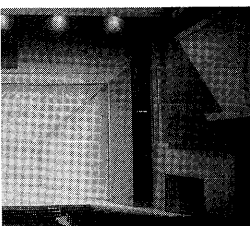
前述の二つのホールと違い、平面床のホールです。ここでは、会議、講演、発表会から展示会、パーティーなど多目的に利用できます。ステージは自動昇降式、また、照明は、点滅やネオンなど十二パターンに演出できます。

つばきホール

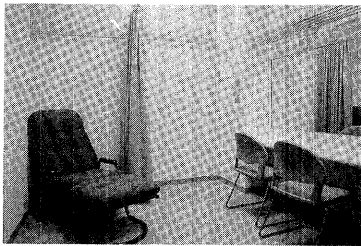
グリーンを基調としたつばきホールは、演劇などのセリフがよく聴こえるように小じんまりしている。また、演技者からの視距離は22メートル以内であり、ステージとの一体感が味わえ、迫力ある演技を肌で感じとることができる。

さくらホール

ピンクを基調としたさくらホールは、エントランスから中に入ると、まずゆとりの空間「ホワイエ」がある。ステージから客席までは、最長でも33メートルで見やすい。シートは幅50センチ奥行き97.5センチで、長時間でもリラックスして鑑賞できる。



ホワイエ

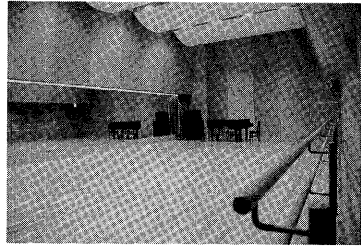


楽屋

楽屋は、演者にとって重要な要素である。できるだけ外気に面し、生活空間としての快適性を確保している。さくらホールには、大1、中2、VIP2、つばきホールには、中1、VIP2を設けている。

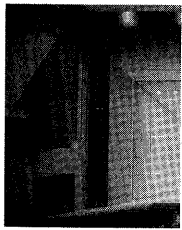
リハーサル室

つばきホールのステージとほぼ同じ面積である。ダンスやバレエの練習のためのレッスンバーやピアノも設置。また、オーケストラの練習のために防音処理もしてある。



あじさいホール

床面積は、345.8平方メートルあり、「あじさい」の名前のおり、用途に応じて様々に変化する多目的ホールである。ピアノも常設してあるので、利用者のアイディア次第でバリエーションはさらに広がりをみせる。

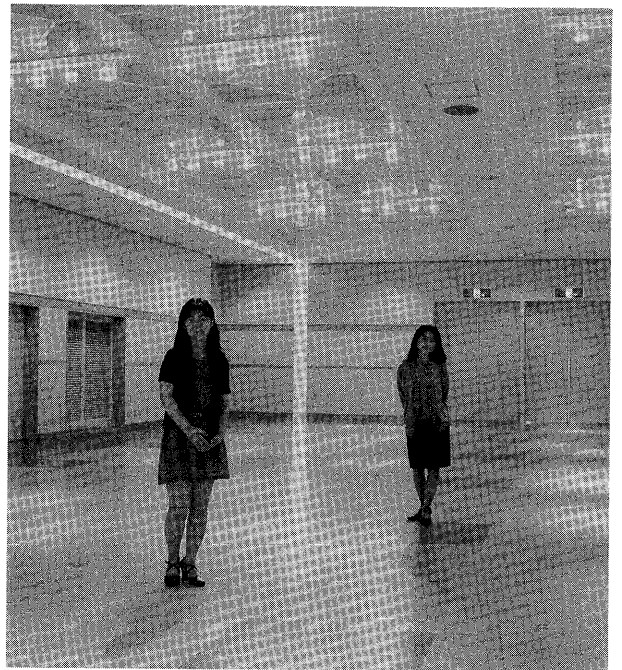
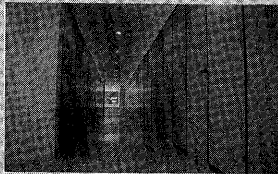


意外な

見どころ

さくらホールの女子トイレ

さくらホールの女子トイレの数は、1か所に24部屋。この数は、1,000人規模の公共ホールの中では、日本でも最大級である。これにより、休憩時間のトイレ前の行列も少なくなり、待ち時間のイライラも解消。向かい合わせに24部屋が並ぶ姿は圧巻である。当たり前だが、男性は見るができない。



開幕の
ベルが
鳴る。

町民会館の《主役》はホールだけど こんな《脇役》たちもいるよ

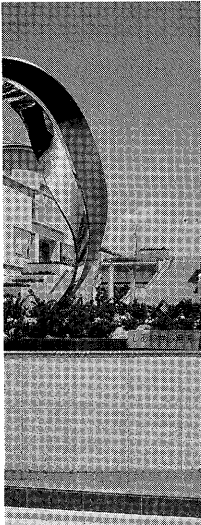
町民会館の中に入ると、まずそこは、高い天窓のついたヘントランスホール。ここから三つのホールをはじめ次のような施設に行くことができます。大・中・小の《会議室》、茶室にもなる《和室》、町の特産物の展示や婚礼衣装のレンタルも行う《展示コーナー・女性サロン》、また、バンドの練習もでき、隣に録音室も兼ね備えた《スタジオ》などです。また、会館内で食事もとれるように《レストラン カメリア》やチケットが買える《チケットセンター》もあります。

外に出てみましょう。《ハッピーネス・ヒル》の中心には、野外ステージなど多目的な利用を可能とする《センタープラザ》、南側には、子どもたちが水と親しめる《親子水ゾーン》、南進入口正面には、《モニュメント「しあわせの希求」》があります。また、植樹も多く施され、人々が自然と親しみ、やすらぎとゆとりを得られる空間となっています。

モニュメント

高さ4メートルでステンレス製のモニュメント「しあわせの希求」は、“メビウスの輪”をイメージしている。輪は円満・幸福・平和を表し、メビウスの輪とすることで、それが永遠に続いてほしいという願いをこめている。

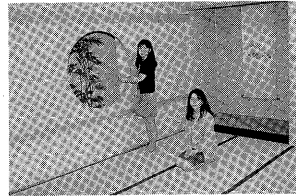
また、その後ろでは、階段沿いに滝が流れている。この滝は、水資源を考え、わき水を使用。また、夜はライトアップされ、星座が浮かんでくる。



親子水ゾーン

和室

畳の香りが心地よい和室は、19畳。水屋や炉もあり、お茶会ができる。壁の竹がまた風情がある。

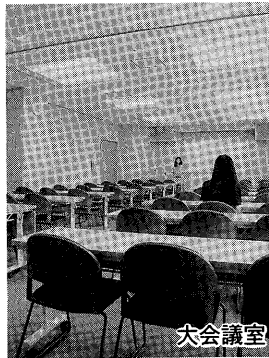


会議室

大会議室は、54人収容。仕切りで2部屋に分けることもできる。

中会議室は、16人収容と12人収容の2部屋がある。南側に面し、大きな窓からの見晴らしは最高。イスもゴージャスである。

小会議室は、16人収容。詳細は、7ページ下を参照。



大会議室

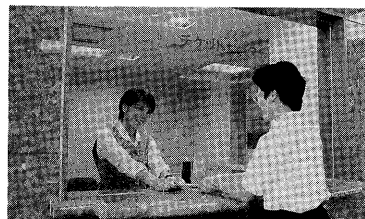


中会議室



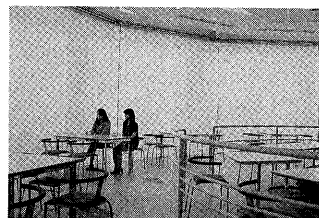
チケットセンター

主に当日券は、このチケットセンターで購入できる。また、前売り券の販売や施設の予約は、事務室で受け付ける。



展示コーナー・女性サロン

筆柿やイチゴなど町の特産物の展示や婦人会による婚礼衣装のレンタルを行う。女性たちが気軽に集まって井戸端会議できるスペース。



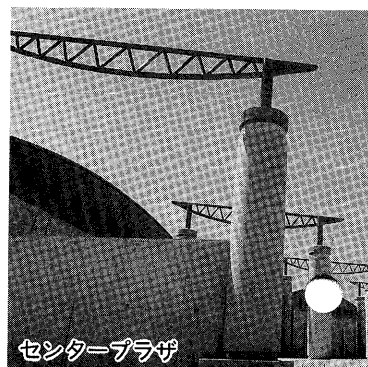
レストラン カメリア

円形のガラスの筒の形状となっていて、センタープラザや図書館などを眺めながらくつろぐことができる。客席数は、約50席。営業時間は、Am7:00~Pm8:00。

センタープラザ 親水ゾーン

センタープラザは、主に野外でのイベントに使われる。ここを中心にして放射状に町民会館や図書館の入口があり、いわば、ハッピーネス・ヒル・幸田の核である。

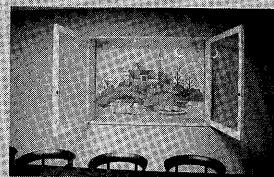
会館南側に走る光明寺川沿いにある親水ゾーンは、河川整備により、子どもたちが水と親しめるようになっている。



センタープラザ

エントランスホール

明るく開放的なイメージで、いつでも誰でも自由に利用できる空間。吹き抜けとなっている高さ約10メートルの天井には、連続的なトップライトが南北に走り、常に天空から豊かな光を注いでくれる。



意外な 見どころ

小会議室の“窓”

小会議室は、建物の中心側にあるので窓がない。これでは会議の能率も低下しやすい。そこで、壁に窓を模し、その中に1枚のメルヘンっぽい絵を入れてある。壁際のスイッチをON.すると、この絵の星が光り、より幻想的な雰囲気となる。部屋を暗くすれば、その効果は絶大であるが、会議中はやめよう。